

新生児聴覚スクリーニング検査を実施いただいている機関の皆様には、いつもご協力いただきありがとうございます。

2025年3月に行いましたアンケート調査についてご報告させていただきます。

| | | | |
|--|--------------------|--------------------|---|
| 沖縄県の出生児数 | | 11,753名 | (沖縄県HPより; 2024年) |
| アンケート回収率 | | 100% | (28施設/28施設 分娩施設) |
| 対象児数 | | 12,168名 | |
| 初回検査実施数 | | 11,702名 (96.2%) | (全国 96.2%; 令和5年度 ^{※3}) |
| 検査未実施数 | NICU搬送 | 148名 | |
| | 希望せず ^{※1} | 79名 | |
| 要再検査率 ^{※2} | | 2.3% | (全国 自動ABR ^{※4} 1.8%, OAE ^{※5} 4.0%; 令和5年度 ^{※3}) |
| 初回検査の公費助成市町村 ^{※3} (令和6年度年4月現在) | | 16市町村 (39.0%) | 本部町、伊江村、伊平屋村、名護市、恩納村、嘉手納町、宮古島市、竹富町、与那国町、北中城村、石垣市、読谷村、座間味村、粟国村、多良間村、南大東村 (全国 90.8%; 令和5年度 ^{※3}) |

※1 希望せず：検査を希望されたかった人数

※2 要再検査率：初回検査の要再検査率

※3 厚生労働省：令和5年度「新生児聴覚検査の実施状況等について」より

※4 自動ABR：Automated Auditory Brainstem Response

※5 OAE：耳音響放射 (Otoacoustic Emission)

2024年に検査を受けた児は、対象の96.2%でした。今年度は全施設からのアンケートを回収できました。また今回、沖縄県の出生児数に対し報告された対象人数が多い結果となった要因として、産科とNICU、GCUを併設する医療機関において「産科用」と「小児科・NICU用」の報告書があるため、同施設内で出生した児が重複して計上された可能性があります。今後は、報告集計時に施設単位での重複確認を行うとともに、記入方法や定義の統一を図ることで正確なデータの把握に努めてまいります。

全国との比較については、初回検査実施率は全国と同程度ですが、公費負担の実施率については、全国と比べて十分に進んでいない現状にあります。今後も県と協力しながら、各自治体における検査費用の公費負担について、引き続き働きかけていきたいと考えております。

また、1人でも多くの児が検査を受け、支援が早期に開始できるよう、きこえの支援センターでは、市町村や実施機関の皆様と連携しながら事業を推進してまいります。

2026年3月にも引き続き調査を予定しておりますので、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。